

令和4年度第1回東葛南部地域保健医療連携・地域医療構想調整会議 開催結果

1 日 時

令和4年11月1日（火）午後6時から午後8時35分まで

2 開催方式

オンライン

3 出席者

委員29名中27名出席

伊藤委員、寺田委員、三束委員、加瀬委員、上田委員、石井委員、赤岩委員、杉山委員、川崎委員、神山委員、西田委員、田中委員、丸山委員、小林委員、新井田委員、堀委員、廣瀬委員、小野寺委員、小森委員、林委員、吉岡委員、瀬野尾委員、館岡委員、森委員、筒井委員、影山委員、杉戸委員

東葛南部地域病院・有床診療所 39医療機関出席

オブザーバー 3名（船橋中央病院、国府台病院、千葉県医師会）

地域医療構想アドバイザー 1名（千葉大学医学部附属病院）

4 会議次第

(1) 開会

(2) 習志野健康福祉センター長あいさつ

【第1部】

(3) 議事

ア 病床配分について

【第2部】

(4) 講演

地域医療構想寄附研究部門の活動報告について

(5) 議事

イ 医師の働き方改革について

ウ 2025年に向けた医療機関毎の具体的な対応方針について

エ 病床機能再編支援事業について

(6) 報告事項

ア 令和3年度病床機能報告の結果について

イ 公立病院経営強化プランの策定について

ウ 地域医療介護総合確保基金による各事業（医療分）の実施状況について

エ 外来機能報告制度について

オ 平成30年度病床配分による整備計画の変更について

(7) 閉会

5 議題概要

【第1部】

(1) 議事1 病床配分について

資料1について医療整備課から説明を行い、医療整備課医療指導班の議事進行により、病床配分応募者10者から各計画概要の説明を行った。

なお、本会議は原則公開であるが、議事「病床配分について」で扱う資料は、医療機関の経営に関する情報を取り扱うことから、資料1のみHPに公開し、非公開で協議された。

【第2部】

会長より傍聴者7名の入室報告

(2) 講演 地域医療構想寄附研究部門の活動報告について

資料2により千葉大学医学部附属病院 次世代医療構想センターから千葉県地域医療構想の実現に向けた提言を行った。

意見・質問等なし。

(3) 議事2 医師の働き方改革について

資料3により医療整備課医師確保・地域医療推進室から説明を行った。

意見・質問等なし。

(4) 議事3 2025年に向けた医療機関毎の具体的対応方針について

資料4-1、4-2により健康福祉政策課地域医療構想推進室から説明を行った。

意見・質問等なし

(千葉大学医学部附属病院 地域医療構想アドバイザーからコメント)

まず、働き方改革についてですけれど、いろいろなツールがようやく充実してきたという段階だと思います。国の方で情報を提供する「いきいき働く医療機関サポートweb」、県の方の「医療勤務環境改善支援センター」、そしていよいよ日本医師会の方が「医療機関勤務環境評価センター」というのを設置したところまで来ております。年度内に取組を進めるというところですが、どんなものをどこまでというのが、手探りの状況であろうかと思えます。そういったことで、何が大事かという、何かゴールまでたどり着いていること、それが望ましいことは、まちがい間違いないんですが、まず、関連する諸機関にしっかりと相談していただくというのが大切だと思います。また、医療機関同士の調整なども可能な範囲で開始しておくというのが大切なのではないかと考えております。

いずれにせよ手探りで非常に悩ましいことが多いと思えます。そういったことに対して、支援あるいは助言とか指導とか、そういった言葉を使ってそれぞれの組織

は、活動する方針を立てておりますので、なるべく早くにお話を進めていただくことがよろしいのではないかと思います。

続いて、具体的な対応方針の見直しについてですが、こちらの方に関しては、感染症と働き方ということで構想のあり方が問われているわけですが、さらに地域ならではの視点ということも重要になると思います。本日は特に大きな議論にはなっていないませんが、地域ならではの視点というものを共有したうえで、構想をどのように実現していけばいいのか、あるいはそもそも構想というものをどのように見直せばいいのかというところが問題になろうかと思います。とても重要なところだと思うんですけども、このような会議で定期的集まって、情報を共有するということが当初、地域医療構想は、どちらかという硬直化したようなしくみを作るんじゃないかと思われていたと思いますが、今はどちらかという柔軟に対応するためのフットワークよく地域が行動できるようにするための会議に変身しようとしています。そう言ったあたりをぜひ御意識いただいて、対応していただければと思います。

見直しの方は、提出を求められていると思いますけれど、こちらの方、例えば、県の方が見て内容があまりにも不適切だったら、突き返すかなんて言うことはありません。県の方ではおそらく、変な勘違いみたいな間違いがあった場合には、御指摘があるかもしれませんが、各病院の意向を重視した形でしっかり見直していただく、そしてそれが地域の状況を踏まえているんだということ、そちらの方が大切ではないかと思います。出来ればこの地域は、こういう構想を立てているんだというイメージが共有されている、そうゆうイメージそれが柔軟に変わる、事態に合わせて柔軟に変わる、そう言ったことを共有する機会にこの会議がさらに発展してほしいと思っていますところでございます。

各病院の方が経営の方針等を踏まえ、いろいろ病床のあり方を工夫しておられると思いますけれど、そちらの工夫の方もこのような会議で開示することで、それぞれの医療機関が、さらに最適な条件で経営を行っていくという方向に様々なツールが増えてきたというふうにとらえていただければと思います。

本日なかなか意見が出にくいような会議になっているところではありますが、そのあたり意識していただいて必要があれば県なり、あるいは千葉大のわたくしなりに御意見を頂ければ対応させていただきます。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。以上です。

(5) 議事4 病床機能再編支援事業について

資料5により医療整備課医療指導班から説明を行った。

意見・質問等なし。

(6) 報告1 令和3年度病床機能報告の結果について

資料6-1、6-2により健康福祉政策課地域医療構想推進室から説明を行った。

- (7) 報告2 公立病院経営強化プランの策定について
資料7により健康福祉政策課地域医療構想推進室から説明を行った。
- (8) 報告3 地域医療介護総合確保基金による各種事業（医療分）の実施状況について
資料8により健康福祉政策課地域医療構想推進室から説明を行った。
- (9) 報告4 外来機能報告制度について
資料9により健康福祉政策課政策室から説明を行った。
- (10) 報告5 平成30年度病床配分に係る整備計画の変更について
資料10により医療整備課医療指導班から説明を行った。

報告1～5について、意見・質問等なし。

(千葉大学医学部附属病院 地域医療構想アドバイザーから総括コメント)

本日、非常に長い時間の議論で特に前半たくさんの意見が出て、非常に内容も豊富だったと思います。本日どうしても内容が盛りだくさんということがありまして、議論をするのが難しいという状況であったかと思いますが、特段の異論というものが出ていないということ踏まえて、しかるべき方向に淡々と進めていくというような環境が、この会議を通じて示されたのではないかと思います。この後、具体的に年をまたいで、いろいろな方針がさらに示されることになると思いますが、そのような折、しっかりと御意見を出していただいて、あるべき姿をしっかりと確認していただければと思っています。

報告事項で1点、外来機能のところですが、現状では、かかりつけと紹介による外来、重点外来と呼ばれているもの、そちらの方の区別に関していろいろ検討されていますが、その延長上にフリーアクセスの制限とかそういったものがあるのではないかなというような懸念も一部では聞かれています。現状ではそのような方針が示されているものではなくて、引き続きフリーアクセス、自由開業のシステムというような日本がずっと通ってきた仕組みは、変えるという方向性が示されているわけではありませんが、重点外来のような仕組みを作ることによって、より高度な医療を提供するというのもとても大切なことだろうと考えております。以上でございます。

(千葉県医師会)

発言の機会を与えていただきまして、ありがとうございます。今回オブザーバーという形で参加させていただいております。

第1部から第2部にかけて、全体的な話というか、特に今回の中で病床配分の話が具体的にあったわけですが、配分の予定数1,251床について、計画書が980床と

不足状態で提出されております。ひとつお願い事なんですけれど、東葛南部地域はかなり医療圏が広くて、一言でどこが不足どこが充足という形が非常にわかりにくい、薄まってしまっている状況でございます。ある一部の市町村にたくさん手が上がったたり、同じ地域の中で一部では病床を減らす、一部では病床を増やすという、希望があったように思えます。ぜひ、各地域において細かいデータ等を見ながら、今後検討をどのようにやっていくか、配分していくのか、どうしていくのか、細かい精査をしていただいて、県の方をお願いしたいと思っております。

以上になります。

(医療整備課医療指導班)

御意見ありがとうございます。

おっしゃるとおり、この医療圏は非常に広く、ひとくくりになかなか考えられないというところの御指摘は本当にそのとおりだと思います。これから病床の配分を決めるのにあたりましては、先生の御指摘のあった内容も踏まえてバランスよくと言いますか、そのへんを検討しながら考えていきたいと思っておりますのでまたご意見いただければと思います。ありがとうございます。

6 閉会